

## 宇都宮市一般廃棄物処理基本計画（素案）に関するパブリックコメントについて

### 1 パブリックコメントの実施状況

(1) 意見の募集期間 令和7年12月23日（火）～令和8年1月23日（金）

(2) 意見の応募者数 1名  
意見数 4件

(3) 提出方法の内訳

	郵送	ファクシミリ	Eメール	持参	計
人数			1		1

### 2 意見の処理状況

区分	処理区分	件数
A	意見の趣旨等を反映し，実施設計に盛り込むもの	1件
B	意見の趣旨等は，実施設計に盛り込み済みと考えるもの	2件
C	実施設計の参考とするもの	1件
D	実施設計に盛り込まないもの	1件
E	その他，要望・意見等	2件
	計	4件

No.	区分	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	B	<p>・前計画における家庭系ごみ排出量（資源物以外）の減少理由について、市民の3Rの行動変容促進以外にも、物価上昇等により市民の購買力が減少したことも関係していると考えられる。</p> <p>・減少理由が不確かであることから、考察をする際には「～と考えられる」と表記した方が良い。</p>	<p>・本市の家庭系ごみ排出量（資源物以外）の主な減少理由につきましては、令和3年度末のクリーンパーク茂原の火災に伴う市民への「燃えるごみ5割削減に向けた呼びかけ」などにより、令和4年度以降は減少傾向が継続している</p> <p>（R3⇒R4：▲8,797t、▲7.9%）</p> <p>ことや、市が取り組んでいるフードドライブの参加者数も大きく増加していることなどにより（目標400人に対し、R6実績855人）、市民の行動変容の促進が図られているものと考察しております。</p> <p>・素案では、上記の通り本市独自の主な減少理由を中心に記載いたしましたでしたが、近年の物価上昇等を踏まえ、次期計画（案）P16の記載を下記のとおりといたします。</p> <p><b>【追記箇所：下線部分】</b></p> <p>・「様々な機会や媒体を活用した効果的な周知啓発の継続的な実施やもったいない運動の促進等、幅広い世代の3Rの行動変容を促すことができたことなどにより、<u>家庭系ごみは減少しています。</u>」</p>

2	B	<p>ごみ処理業務や生活排水処理業務について、DX※に関する取組を次期計画に盛り込んだ方が良い。</p> <p>DX※ DXは「デジタル・トランスフォーメーション:デジタル技術で人々の生活をより良いものに変革する」の略であり、自治体においても、デジタル技術やデータを活用して住民の利便性を向上させるとともに、デジタル技術やAI等の活用により業務効率化を図り、職員の負担軽減とあわせて、人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げていくことが求められている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次期計画におきましては、市が目指す「スーパースマートシティ」の構成社会の1つである「脱炭素社会」を見据えた循環型社会の形成を基本理念に掲げております (P21)。</li> <li>・各取組等を検討する上でも、「スーパースマートシティ」実現の原動力となるデジタルの活用 (DXの推進) の視点を踏まえており、デジタル技術等を活用した周知啓発や粗大ごみ有料戸別収集へのキャッシュレス決済の導入、廃棄物処理施設の運転管理などを検討していることから、意見の趣旨等は計画に盛り込み済みと考えております。</li> <li>・スーパースマートシティの概念につきまして、P21の基本理念の説明文に記載の「スーパースマートシティ」に注釈※を加えて補足いたします。</li> </ul> <p>注釈※ スーパースマートシティは、本市が目指すまちづくりの姿であり、100年先も発展し続けるまちの姿「NCC (ネットワーク型コンパクトシティ)」を土台に、「地域共生社会」、「地域経済循環社会」、「脱炭素社会」の3つの社会が、「人」づくりの取組や「デジタル」技術の活用によって発展する「夢や希望がかなうまち」です。</p>
---	---	--	--

3	E	<p>次期計画の施策事業「ごみ有料化等の検討」のうち、主な取組「事業系ごみ手数料の見直しに関する調査・研究」について、調査・研究結果を公表してほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次期計画における施策事業につきましては、「ごみ有料化等の検討」も含め、毎年度、取組状況等の実績を点検・評価し、その結果を「廃棄物減量等推進審議会」に報告するとともに、市ホームページにて公表いたします。（例年 3 月頃）</li> <li>・また、市では適切な原価計算による受益者負担の適正化を図るため、4年に1度、使用料・手数料等の全面見直しを行っています。（前回見直し：令和6年度）</li> </ul>
4	E	<p>取組指標に「ごみ分別アプリ『さんあ〜る』のダウンロード数」を設定しているが、ごみを減らすことの重要性やSDGsの考え方、ごみの分別などについて、特に、文化の異なる外国人に働きかけを行った方がよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人に対する働きかけにつきましては、英語・中国語・ベトナム語など多言語に対応した分別アプリやチラシ等を活用しながら継続的な周知啓発に取り組んでおります。</li> <li>・更なる分別の協力や分別精度の向上を図るとともに、SDGsの達成やサーキュラーエコノミーへの移行など、廃棄物を取り巻く状況に適切に対応していくため、引き続き、様々な機会・媒体を活用し、外国人も含めた意識の醸成・行動変容の促進を図ってまいります。</li> </ul>